

淡海公民連携研究フォーラム（滋賀県）

取組のきっかけ

○「PPP/PFI推進アクションプラン」改訂（H28.5）

- ・PPP/PFIの活用を推進した、地域経済好循環の拡大
- ・地域の民間事業者の案件形成力の向上
- ・一の地方公共団体の枠組みを超えた広域的な対話の仕組みづくり

☆産官学金による官民対話等を行う地域プラットフォームの形成を推進

取組の概要・効果

フォーラム・研究会開催

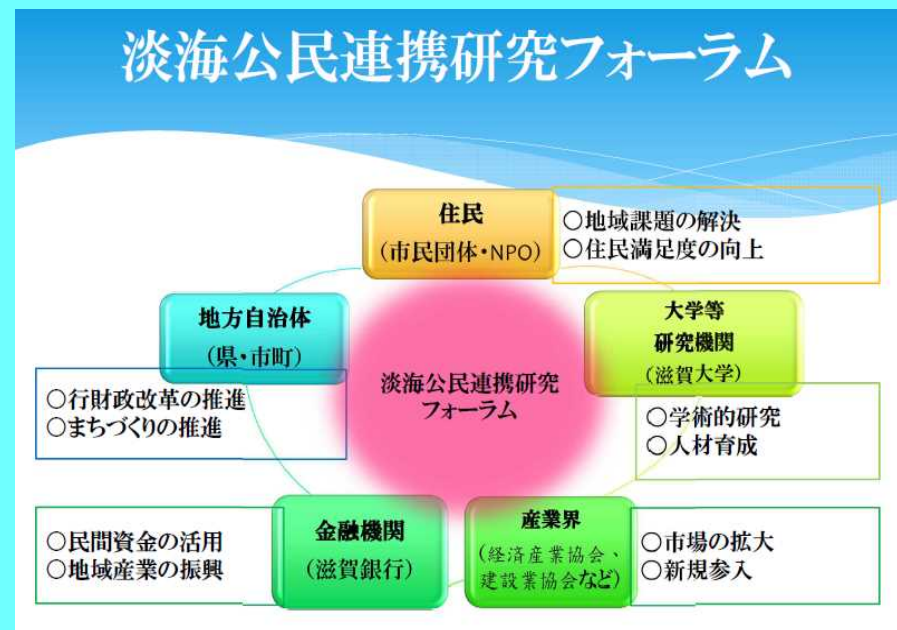
- ・PPP/PFIの事例研究
- ・プレサウンディング実施
- ・個別相談会実施

連携のミスマッチを事前防止

- ・PPP/PFIの知識・手法の理解促進
- ・自治体と民間企業の考え方の隔たりを確認し、調整することが可能

取組のポイント

- 公民連携による地域課題解決は、自治体と民間事業者等の相互理解が不可欠であり、地域の大学、金融機関を中心とした、自治体と企業等を結ぶ仕組みづくりが重要。
- 公民連携のプラットフォームを設けることにより、ネットワークづくりが進み、新たな課題に対し、迅速な解決力の発揮につながる。



大学等研究機関(滋賀大学)、金融機関(滋賀銀行)、自治体(県・市)等が一体となって、「淡海公民連携研究フォーラム」を形成。

取組

- ✓県内の全自治体、民間事業者、金融機関、大学など多様な主体が参画し、研究会を開催
国立大学法人滋賀大学、滋賀県、(株)滋賀銀行、(株)しがぎん経済文化センター、(株)日本政策投資銀行、(株)日本経済研究所、内閣府、県内市町 など
- ✓早い段階からの官民対話により、課題解決を加速